

<b>科目名</b> 看護リフレクションⅠ	<b>授業担当者</b> 清水 有香 他	<b>所属</b> 中通高等看護学院	
<b>開講時期</b> : 前期～後期	<b>単位数</b> : 1 単位	<b>時間数</b> : 15 時間	
<b>授業の目的</b> 看護リフレクションとは何かを理解し、リフレクティブサイクルに沿って、経験から学ぶための振り返り思考のプロセスを学ぶ			
<b>授業の概要</b> 看護におけるリフレクションは、日々の看護実践の中で行われる暗黙知や技を可視化・言語化するプロセスである。リフレクションを学ぶことは、看護実践の質を向上させ、看護専門職として成長し続けていくための有用なスキルである。本科目は、このスキルについて理論を学び、技術演習の場面をリフレクションする。年間通して行うことで、リフレクティブな思考を養いたい。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 3～15 回目は、演習またはシミュレーション演習後の個人・グループワークでは、ワークシートを使ってリフレクションする。(順不同) 具体的に演習の場面を想起し、グループメンバーと十分にディスカッションして欲しい。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	看護リフレクションとは	講義	清水
2	ワークを通して学ぶ看護リフレクションとは	講義・個人ワーク	清水
3	共通技術論Ⅱ:安全な移乗・移送と環境整備	グループワーク	齊藤
4	日常生活援助論Ⅱ:浣腸実施後のおむつ交換および陰部洗浄	グループワーク	渡部(絵)
5	日常生活援助論Ⅰ:座位姿勢保持ができない患者の食事介助	グループワーク	工藤
6	共通技術論Ⅰ:コミュニケーション・フィジカルアセスメント	グループワーク	小田嶋
7	診療・検査時の援助論:酸素療法および安全な吸引の実際	グループワーク	清水
8	治療・処置時の援助論:点滴静脈内注射時の観察	グループワーク	秋山
	試験		
<b>テキスト</b> 田村由美／池西悦子著 看護の教育・実践にいかすリフレクション 一豊かな看護を拓く鍵― 南江堂			
<b>参考書・指定図書</b> 東めぐみ 著 看護リフレクション入門 ライフサポート社 田村由美／池西悦子著 看護のためのリフレクションスキルトレーニング 看護の科学社			
<b>評価の方法</b> 筆記試験(30 点) レポート(10 点) ワークシートの提出及びリフレクションアセスメント指標を用いた評価(60 点)			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります